

# 生命の分析

◎人間は永遠の昔から永遠の未来に向かって転生を続けている。つまり何百億年昔から何百億年の未来に向かって転生を続けるらしいんです。

◎過去において宇宙的なことを何か学んだことのある人が、現在こうした宇宙的なことを知って、これは真実だという直感力が起こるんだそうですね。

◎人間の生き方というのは非常に深遠な、広大な流れがあります。

◎三月にアメリカのNASA（米航空宇宙局）が打ち上げたルナプロスペクターと名付けられた探査機が月へ行きました、月の表面に巨大な氷の固まりを見つけたということが新聞に出ておりましたですね。月は死の世界ではなくて、アダムスキーが言いますように生きた世界で、また別な惑星から人間がすでにそこへ植民地として住んでいるんだということがこれで次第に科学的に立証される方向に来たということは大変喜ばしいと思います。

◎これを（生命の科学）徹底的に勉強をしておきますならば、私たちは確実にこの内容どおりな生き方をすれば確実に今生を終えたならば別な進化した惑星に転生できるだろうと思います。

◎Clairvoyance（透視）

◎生命という問題が人間にとって最大に重要なんですが、なかなか生命とはこうなんだというそういう研究というものがあまりなされていないようなふうですね。

◎宇宙の創造主（Creator）をアダムスキーが非常に頻りに用いているということは、結局アダムスキーはスペース・ピープルとコンタクトして随分多くの知識を与えられていますから、アダムスキーが創造主という言葉を使用するのはスペース・ピープルがそもそも創造主という言葉を使用していたからじゃないかと思うんです。

◎日本の偉大な科学者で、遺伝子の研究をされて世界的な大学者になっておられます筑波大学の村上和夫先生ですね。この方が「生命の暗号」という書物の中でどう考えても人間の細胞をあれだけ作り上げてくれた何かが宇宙に最高のものがあるんだと。

Something Great（偉大なあるもの）

◎人間を含めたすべての生物の命は、人間の工夫や知恵で作られたものでなく、サムシング・グレートからの贈り物である事を思い出す必要があると思います。

◎良い遺伝子をおおいにオンにして（活性化させる）、ダメな遺伝子はオフにしてしまう。

自分の体に呼びかける。人間の思念の力によって肉体の健康状態からどうにでもなる。

◎心と意識・・・人間の体の中に潜む精神的な二大要素

◎意識＝生命

◎マインドになりますと発達の段階が人によって全くまちまちでして、非常に高度な発達したマインドを持っておられる方もあれば、まだ非常に低次元なマインドの人もある。

◎我々は内部の意識というものをそれこそ意識してですね、それと一体化させるようにするならばマインドも次第に次元が高くなっていく。意識というのは神と同じですから、意識とマインドを一体化させるということは自分のマインドが神の方に近づいて行くということになります。

◎因果応報の法則は絶対的に働きます。

◎地球も次第に宇宙的な方向に発達していきまして、大きな機運が起こってくると思います。地球と惑星との比較の法則によって地球人が目覚めるときがいずれくるだろうと思いますね。

◎心だけで考えることをやめて、内部（意識）からくる印象をキャッチするようにしなさい。

◎樹木というのはやはり生命を持って生きています生き物ですから人間の想念に応えるんです。

◎あらゆる人間の魂、つまり宇宙の意識です。これは完璧な絶対的な善そのものである。

◎イエスという方は実在した事は全く間違いありません。イエスという超偉大な人物が実在したことはイエスに死刑を宣告したポンティウス・ピラトスというローマ皇帝から派遣されてイスラエル一帯を治めていたローマ総督がいました。それがイエスに会ってその印象を綴った報告書がローマ皇帝に送られていたんです。

◎一般の人間は、それ自体が原因であるエゴによって支配されている精神労働者です。

◎心は他の物質的な結果に心を任せたがる・・・現象を見て心がゆがめられてしまう。ふらふら支配されてしまう。

◎宇宙の英知＝神

神の表現・・・完璧に純粋でそうして他人を助けるような善の固まりで、そうしてまた完璧な健康体の現れ。

◎人間というのは無限の能力、可能性を持っている。それはすなわち創造主である神の現れであるからだ。

◎やってきた心の中からわき起こる印象に従って、この印象に従って他人に何かを行えば相手は喜ぶだろうか、人のためになるだろうかと考えて人のためになるだろうと思われる印象だけを選んでそれを実行すればいいんです。

◎本当のテレパシー能力をつけようと思えばとにかく心を静めて内部からわき起こる本当の印象をキャッチする。

## 質問

◆生命の科学レクチャー1は本講座中最も重要とアダムスキーは述べています。どこが重要なかを考えてみましょう。

# 生命の分析②

- ◎誰も長生きはしたいんです。同じ長生きをしてもですね、健康で長生きをする。
- ◎自分はダメ人間だとか弱いヤツなんだと自分でそう思ったらもうダメです。どんなにいい治療を受けてもうまくいかないかもしれません。逆に必ず自分はよくなるんだというふうな絶大な信念をもっておりますとね、それはまた先生方の治療もうまくいって、そうして早く良くなるでしょうね。
- ◎病気をして学ぶことをしっかり学べばこれはまた非常によい勉強になるわけです。
- ◎長生きをするための絶対的に重要なのはなんと言っても精神の状態なんです、それを教えてくれるのがこの生命の科学。これ以上の本がないんです。
- ◎「生命の暗号」この中にもやはり思念法が書いてありまして、良い遺伝子つまり良い細胞に「ONになれONになれ」と言って呼びかける。それから「悪い細胞はOFFになれ」とつまり消えてしまえと言うような意味です。そういうふうに呼びかければ良いんだと言っておられます。
- ◎「見えないものを科学する」サンマーク出版 元電気通信大学の教授であり、今は東海大学教授の佐々木茂美という先生が書かれた純然たる科学者の書いた本です。
- ◎皆さんが他人から何かを教わって、それを正しいと信じる事ができるのは、その事をすでに皆さんが（過去に学んでいて）知っているからなのです。つまり人間は過去生において宇宙的なことをどこかの惑星で学んだ人。あるいは地球でも遠い過去生で宇宙的な時代がありましたから、そのころに学んだ人が長い転生を経て、今この生涯に出てきた。そうしてアダムスキーという人がこういういろんな宇宙的な本を出した。これを一目読んでこれは本当だとそれは今生で受けた教育の影響でも何でもなくて、遠い過去生で学んだそういう宇宙的な記憶が残っているからそれですぐに同調できるんだと言うことです。
- ◎来世紀の中頃、あと約50年くらいすれば地球人も別な惑星の文明を知ってですね、べつな惑星の異星人の方々とかかなり交流するようになりますからね、早く行けば来世紀の20年から30年頃にそうなるはずです。来世紀後半になれば大宇宙船を造って別な惑星へ行って交流できるようになるでしょうね。それが本当の地球人の宇宙的な進歩になるはずです。絶対に来ます。絶対に！

- ◎結果が生じた理由を分析する。結果というのは、何か自分がやろうとして、その結果がうまくいかなかったということが時々ありますね。それは何故こうなったかということ进行分析すりゃいいんです。
- ◎人間は樹木から放射されているエネルギーすなわち生命力を見ません。
- ◎森林地帯に入りますとね、確かに一種の霊気といいますか生気といいますかそういうのを心澄ましていけば感じますよ。
- ◎「植物の神秘生活」 The secret life of plant
- ◎意識===人体の全体を生かしている創造主。創造主の心、神の心。
- ◎神の意識というのは自分の体内にもある。
- ◎遠い昔私たちは信念の力、希望の力、絶対にあきらめない力を学びました。昨日失ったゴールは明日は取り返すことができます。（ファーコン）
- ◎ファーコンはあまりにも宇宙の情報を与えすぎたというんで、火星に帰られなくなって金星へそのまま移住ということらしいんです。
- ◎火星の地下に大都市がある。運河も地下に移した。
- ◎「見たり聞いたりしないで信ずるものは幸いである。そのものは天国へ入るであろう。」
- ◎直感力というのが非常に重要なんです。
- ◎プラトンが説いたイデア論、これはアダムスキー哲学と同じです。
- ◎アプリアリの直感力===テレパシクな直感力
- ◎エマニエル・カントという人はどの惑星にも偉大な文明があるかもしれないと思っていたそうですね。（別な惑星から転生してきた人と考えられる。）
- ◎人自分の内部に宿る宇宙の魂（意識）、これをはっきり認識して、そうしてそこからくるインスピレーションを感じるようにする。それで敏感な人間になる。

## 質問

- ◆良い結果を生じさせるには、心は意識を完全に信用して、心が意識によって導かれる必要があります。（17p）

心が意識によって導かれた例をお話ください。

- ◆警戒の状態とはフィーリング（感じること）または知覚の状態です。動物においては音響に頼る必要のない[本能]として知られています。（19p）

日常で警戒の状態を体験した例をお話ください。

# 心とその成分

◎UFO問題はかなり低迷しておりまして、一般でも新聞報道にも出ない状態です。あんまりぱっとしないんですが、しかし出現するところにはやっぱり出ておるんですね。ただそれが取り上げられないだけだということのようです。

◎大勢で瞑想をやりますと、その波動が非常に高周波の波動になりまして、上空に放射されますから、やはり異星人側もそれに対して感応しやすいんでしょうね。

◎UFOを見たいと思われませんか、一種の大宇宙思念法みたいなものを作って、自分の想念波動を非常に純粋化させて、当然良い想念波動ならばそれに感応して同調して上空にUFOが出現するということは十分考えられます。

◎ノストラダムスの予言、エドガーケーシーの予言などはあれはっさい耳を貸さない方がいいです。ああいうことは実現しませんからね。ノストラダムス自身は悪い人じゃなかったんですが、それを解釈した本の中がでたらめなこと書いてあるんです。

◎だまされないように。そうして暗い想念を起こさないようにやって行きますならば実際に何かが起こってもそれを自然に逃れるようになるというふうに考えられます。

◎四つの感覚器官から形成されて人間の心というものが出来上がっている。そうして皆それぞれその四つの感覚器官でんで勝手な自分を作り上げているわけです。だから人間の心というものは絶対的のものじゃないんで、当てにならないものだということですね。

◎四つの感覚器官を統一する力がないのが地球人の特長。偉大な進化を遂げた惑星の方々はこの四つを見事に統一しておられるようですから、人間の迷いというものを起こさない。

◎意識===人体を構成している根元的な魂

◎心というのは肉体に付随する一時的なものです。宇宙全体を支配している宇宙の意識というもの、その一部分ですね。だから私たちは宇宙と本当は一体であるんです。

◎人間は永遠の過去から永遠の未来へ転生を続けて行くんだそうです。

◎別な惑星を探索する気運が次第に起こってくれば、本当の実体はいずれ分かるでしょう。2020年頃になれば地球人もUFOなるものが別な惑星からくるすごい宇宙船だということを実に知るようになるそうです。来世紀はものすごい世紀になると思います。地球の文明が先進文明、科学文明ともすごい変化を遂げる世紀になるはずですよ。

◎本当の実体である意識と一体化するようになれば、その心もその意識によって正しい考え方を起こすように導かれるんです。本当のテレパシクな想念の起こりです。

◎感覚を持つ人間は体験によって学ばねばなりません。そしてこれをなすためには本人は感覚器官同士が互いに尊敬し合うように訓練しなければなりません。

◎ニュートラルな状態、四つの感覚器官を完全な中立な状態

◎自分の内部に宿る魂である意識は両親なんですね。感覚器官を支配している両親ですから、その意識を特に尊敬をする。

◎自分で一定の修練法というようなものを編み出して、自分でやはり一種の自己訓練をやる必要があると思いますね。(大宇宙思念法)

◎第二の視覚である意識という視覚でもって現象を見る。これを日本人は素晴らしい言葉で表しています。===心眼

◎アメリカで今遠隔透視が実用化されてそれを事業にしてやってる会社までができてる。

◎RV・・・遠隔透視

◎「サイキックスパイ」 ジム・シュナーベル著 扶桑社 ¥705

◎「EMXは命を救う」 田中 茂 著 サンマーク出版

◎意識の教えは印象によってのみ伝えられる。

◎日本語の霊というのは心霊の霊魂という意味よりも、宇宙哲学的に言えば波動という意味にとればいいんです。

◎あんまり知識欲に駆られてつまらないことをあれこれ異星人に聞くと、むこうさんは教えてくれないから、結局今もっているような知識は持つことができなかったろう。

◎天国===因の国、宇宙の意識の国、宇宙全体を生かしている宇宙の魂の国

◎計画ということは宇宙全体を支配している創造主の創造した世界においては人間はみんな平等。

◎人間の能力はすべて平等だから万人はすべて重要な存在

◎聖書といますのはあれは昔から伝わってきた膨大な書類を編纂したんですね。西暦の四百年頃に編纂されました。そしてこれだけが本当だと考えられたものだけが旧約と新約です。あと書類は外典としてのけられたんです。

◎私たちは万人あらゆる人が皆平等であるから、平等であるということは能力において平等だという意味もありますが、根本的には宇宙の魂つまり創造主によってみんな生かされているんですから、その意味ではみんな創造主の子ですから、そういう意味で本当に絶対に平等だと言えるところです。

◎あらゆる人の内部に宿る創造主の魂というものを見つめるようにしておれば、あらゆる人を尊敬せざるおえない。

## 質問

◆真に万人が平等であることを私たちが理解する意義を考えてみましょう。

# 宇宙の法則の応用

◎人間の想念波動は邪魔物がない限りは宇宙空間をどこまでも進行して行くんだそうです。そういうわけで人間の想念波動というのは大変にすばらしい力を持っているんですが、アダムスキーによればこれはまだ未発見の荷電微粒子が空間を進行するんだと言っていますから、電波みたいな物でしょうね。

◎みなさん方も宇宙哲学などを勉強して、高周波の想念波動を発する人の非常な利点と言いますか、よいところなんですね。高次元の想念波動を持っておられれば、危険に見まわることがない。何か危険なことがあっても自分では知らず知らずの間にさけるというようなことになるはずです。

◎悩みに悩むときはこういう本（生命の科学）をば一っと開いたところをどこでもいいから読むんです。これがいいんです。

◎人間は創造主の力を受けている。その証拠にみんな生きています。

◎Cosmic Consciousness（宇宙の意識）創造主、宇宙の魂、神

◎この電気に相当するのが人間を生かしている宇宙の意識

◎食べ物食べて消化されて、そして排泄しますね。これも一種の呼吸ですからね。

◎砂でさえも宇宙の意識によって作られた物ですから何か呼吸をしているということになる訳なんでしょうね。膨大な砂も何か生きた物。

◎無生物の砂であろうが何だろうが宇宙の創造主が与えてくる息によって呼吸をし生かされているんだということにして、ましてや植物、花とかあるいはその他の樹木とかですね。これは完全な生き物ですから、人間と同じように扱って、目に付いたら「花さんこんにちはと挨拶をしたり、あるいは森に入ったら樹木さんたちこんにちは」と呼びかけて挨拶をするというようなレベルまで行ったら本当に宇宙的な人だといえるでしょうね。

◎信じない人を軽蔑をしないでその人の内部に宿っている宇宙の意識（宇宙の魂）を見てあげるようにしなくちゃいけない。そうすればアダムスキーレベルになれるでしょう。

◎人間の心の意志は非常にわがままでてんで勝手な考えを起こしたがる。だからそれではいけないので、【自分の心（mind=目、耳、鼻、口）は迷う。】心を静めて、内部の宇宙の意識、宇宙の魂の本当の印象を受け取るようにするんです。

◎地球人はせっかちですからね。迷いの心そのままをやっちゃうから失敗するわけです。

◎意識の意志は自分を押しつけはしない。意識の意志は親切で豊かで美しいのですが、エゴの意志は攻撃的で威張っていて自己中心的です。

◎四つの感覚器官を調和させる事が必要なんですが、音楽家がバイオリンの各弦が他と調和するように調弦するのに似ている。

◎調和の法則、これは絶対にあります。だからこそ我々は7、80年も一つの肉体を保ったままで生きられるわけですね。宇宙の魂が全体を調和させて生かしているわけで、それに気づいて四つの感覚器官をさらに調和させて正しい心を持つならば、奇跡が起こるわけです。

◎古代日本人は創造主を民族的に認めてきた形跡があります。

◎来世紀の中頃になれば地球人も別な惑星の大文明を常識として知るようになるそうです。そのころにはこうした宇宙的な哲学も一般に浸透してくる。

◎意識というのは宇宙の魂ですから恐怖心を持たないんですね。恐怖心というのは人間のマインドだけが起こしている勝手な状態です。

◎大宇宙思念法（宇宙思念）は宇宙の意識とアダムスキーの言う宇宙の魂ですね。これと自分が一体であると思念するんですから、こういうのは本に書いてある哲学をそのまま生かしているんでして、これは瞑想とか精神統一とかいうようなものじゃありません。

◎創造主・・・人体を生かしている生命そのもの

◎「自分自身を知れ」・・・宇宙の創造主によって生かされているんだということを知れ

◎2020年頃になると、いわゆるUFOと言われていたものは、あれは幽霊でも何でもなくて、別な惑星からくる宇宙船だということが大体ハッキリ常識として一般地球人に知られるようになるそうです。

◎UFO観測をやる時には必ず大宇宙思念をやるんです。そうして上空のスペース・ピープルと自分は一体であるという強い思念を起こすんです。そうすると出現しますね。

## 質問

◆人間には、いわばあらゆる表現能力が内蔵され潜在しているからです。そして人間は生命の息を役立たせるために、それを吸い込んだり吐き出したりする必要があります。もしその呼吸をやめるならば、何の動きもない静止した道具となります。しかも吸い込むだけで吐き出すことをしなければ生命表現の連続状態は停止するでしょう。人体を活動させるためには絶えずこの”生命の呼吸”が人体を流れねばなりません。（43P）

生命の呼吸についてその意義、身近な例を考えましょう。

◆意識の意志は親切で豊かで美しい（44p）

この意識の表現から思いつくことを述べてください。

# 万物の相互関係

◎樹木というのは完全な生き物なんです。要するに生物ですから魂を持っていますからね。それで、心霊的な方面では木霊ともいいますが、本当は霊なんてないんで、魂があってそこから意識による波動を出してるわけです。人間と同じなんです、人間のような自由意志が与えられておらず、ものを言うことができませんから、言葉を発しませんですけどね。しかし、樹木をジーツと観察していますとあきらかに人間と同じ立場で、こっちを見ているんだなと言うことが何となく感じられます。===万物一体

◎「植物の神秘生活」 工作舎

◎月にも植物があるそうですね。月に実は水がある。水があれば当然植物も生えるんです。緑地帯が月探査機によって撮影されていますね。その緑地帯の写真はダニエル・ロス氏の本「UFO宇宙からの完全な証拠」の中に出ています。

◎最近の新聞報道によりますと月に60億トンもの氷が発見された。琵琶湖の水の四分の一。

◎Z氏は金星人のグループとコンタクトを続けているんです。それが5月のはじめの頃コンタクトによって火星のことを聞かされたそうして、地下に大都市が建設されていると、これはなぜかと言いますと、火星は空気が薄いために太陽の放射線、特に紫外線が強烈に降り注ぐものですから、人間の体に良くないんですね。大部分の火星人は地下に都市を建設して地下へ潜ってしまった。

◎Z氏はコンタクトといいましても、フィジカルコンタクト（体を持ったまま対面して話し合う）じゃなくて、彼の場合はテレパシーで金星人のグループから連絡が来るんです。

◎あらゆる惑星にある物質はすべて地球上にあるものとほとんど変わりはない。

◎物質の出生地は空間である。

◎来世紀になったら転生の法則が科学的に立証されるようになる。（なかば頃まで）

◎自殺した人の霊魂はどこへ転生するかと言いますと、非常な原始的な民族中へ転生して行って、原始民族として最初からやり直す。大自然と共に生きることによって改めて人間の価値を学び直す。

◎人から殺された場合は、原始民族の中へは行きませんが、あまりよい所へは転生できないようですね。

◎あまりにも自分が強烈な意志を持って何かをやろうする場合、これが危険であるか安全であるかは自分の内部の直感力でこれは知らなくちゃ他にしようがないということです。だから直感力

を高めるといことは重要なんです。そのために我々はこういう本を勉強しているわけです。◎よその惑星ではものすごい進化していますから、宇宙の英知に従って生活しているわけで、地球人だけはエゴの発揮の連続です。

◎サイコメトリー→→→物品に触れてその性質由来などを感知する超能力

◎遺伝子が人間の生命そのものだというその重要さを意味してるんですが、そのことが一般に知られていない。

◎心と内部で働いている、臓物を動かしている知性とは全然別なものだ。完全に人間は二重構造になっている。頭の中で発する心と体全体を生かしている意識。

◎おおもとの人間の人体を生かしている意識というものは生命そのものだ。

◎心を意識と一体化させるならば、ものすごい能力が出てくることが言えます。意識はあらゆる能力を持っているんですから、意識というのは英知そのものであります。

◎彼らは観察される個体があたかも自分であるかのようにその個体について意識的になるのです。

◎他人を見た場合にこの人は自分自身なのだと思う。そうすれば自分自身にもものすごい能力が出て来るんです。

◎見知らぬ人を街を歩くのに見るでしょう。そうすると必ずそれに対してこの人は自分自身だという考え（フィーリング）を起こしますが、そこまで行かないにしても心の中で祝福の想念を送る。

◎過去生の記憶を思い出せないのは、心と意識とが一体化しないからで、これは地球人の特長ですね。

◎「あなたの細胞の神秘的な力」 詳伝舎

※細胞は意識的を持った生き物だ。そしてこの宇宙空間は巨大な意識があって、そこと細胞がつながっているんだ。

◎内蔵を切り取っても、少しでも根を残しておけば自然にそれは生えて来るんだ。そのためには心が完全（ニュートラル）な状態でないとダメだ。

◎花は人間に頼むように呼びかければ動いてくれる。

## 質問

◆心が調和的なおだやかな状態を保とうとすれば、人体内で起こる物事のすべてを知ることが心の義務であり特権であるのです。（68p）

人体内で起こる物事を知るということを考えてみましょう。



◆彼らは（異星人）観察される個体があたかも自分であるかのようにその個体について意識的になるのです。（69 p）

観察される個体が自分であるかのように意識的になったことはありますか？ 体験談をお話下さい。

# 意識、英知、生命力

◎カルマ……インドの古代哲学の用語（カルマン）（宿命）

◎人間には絶対に死滅しない無くなならないものがある。人間が転生するときそれが一緒にくっついて転生して歩きまして、永遠がそれがいっしょくたに歩いていくということですから、結局過去生からの記憶というものは誰にでもある。

◎過去生から連綿と続いてきた私達の記憶、または知識の存続これが非常に重要なんですが、来世紀なりますと地球人も宇宙的な知識を持つようになる。

◎U F Oなるものはわれわれの太陽系の別な惑星から来る大宇宙船であり、また巨大な文明が別な惑星に発達しているんだと言うことを地球人は常識として知るようになる。後20年加速度的に、幾何級数的に地球人の知識は進歩してきます。来世紀の中頃になれば、大体もう別な惑星の人達と交流をして堂々と別な惑星へ行ったり来たりするようになるそうです。

◎N A S Aが密かに本物のU F Oを開発している。

◎転生は不公平なことはない。絶対に公平。

◎悪い宿命を持ってきた人達はどうぞすれば救われるかといいますと、それは意志の力で。これが人間の救いです。>>>>**信念の力**

◎地球人は心というものしか用いないで、内部に宿る一種の感知力を応用することはまだできていない。

◎地球人はいろんな動植物だけに自分を密着させようとして、もっと空間の神秘的なものを考えようとしなない。

◎アダムスキーが言う宇宙の意識はどんな空間にも満ちている意識です。宇宙の創造主そのものです。

◎善悪を作り出したのは人間が勝手に分類して作り出した。**宇宙の意識は絶対の善**

◎プラトンは宇宙の意識に気付いていた===>イデア論

◎心を完全なニュートラルな状態にして、体の中で働いている法則（人間を健康体にしようとする宇宙の意識から来る法則）によって人体が保たれているわけですが、その法則を妨害しないように自由に働かせるようにすれば完璧な健康体になる。

◎宇宙の意識は要するに創造主。これは万物を生成発展させようとしている根源的なパワー。これが満ちた世界は絶対的な世界。崩れることもなければ、途中から消えることもない。永

遠にこの宇宙空間に満ちている絶対的な世界。……

**絶対思想絶対哲学**……自分の想念を絶対化させて宇宙の意識の中へ入り込んでしまつて本当に溶け込んでしまう。**自分は絶対的な存在だ**

◎まず考えること。それから考えることをやめて純粹無垢な状態なって宇宙空間に溶け込む

◎**4次元の世界**>>>>宇宙空間の創造主の意識の世界。

◎宇宙は三つの波動からなっている……①物質の波動 ②人間の想念波動 ③宇宙空間に満ちる意識、創造主の波動

◎同調の法則……悪い想念波動を起こせば悪いものが同調して引き寄せられてくる。

（良い想念波動を起こせば良いものが同調して引き寄せられてくる。）

◎神は限界を知らない四次元である。神とは万物の魂。**意識とは生命を可能ならしめる、万物の魂**

◎「あなたの細胞の神秘的な力」 ロバート・B・ストーン著 祥伝社

## 質問

◆この章では4次元について多く述べられています。ここでの四次元とはどんな意味を指しているのでしょうか。

# 新鮮な想念で人体は若返る

◎UFOは誰が見てもいいんですよ。自分は見なくても、人が見ればそれはそれでいいかと、我々を代表してくれて見てくれたんだと思って喜んでおります。

◎宇宙の意識と言うのは宇宙の神と同じ。創造主。これをたえず自分の意識でもって宇宙の意識を意識しているかどうかというところに大きな問題がある。

人間によって意識されている宇宙の意識 ==> Conscious consciousness

◎人間によって意識される意識というものを一分一秒たりとも意識し続けるというのがスペースピープルの生き方

◎ガリレオガリレイより100年前、ノストラダムスは天動説を唱えている。

◎来世紀になりますと天文学会も太陽系内の別な惑星に大文明があることを知ってきます。アメリカのNASAは知っているんですが、これが公然と知られるようになったら学会の過去の権威はがた落ちになって、新しい思想が澎湃として起こってきて、地球は本当の宇宙時代に入ってくる。2020年頃から始まりとなって、来世紀の中頃には地球人の常識として知るようになる。

◎Space People・・・異星人(SP)      Space Brothers(SB)  
George Adamski(GA)

◎人間の内部は心と意識というものと二つあるわけです。内部の意識というのは魂。絶対に永遠になくならない、転生を続けながら本人の実体として続いて行くものがこれが宇宙の意識の一つの分身。

◎異星人は全然恥ずかしさを持たない。人間の肉体は創造主、宇宙の意識が造った中で、これくらいに尊いものはない。

◎東京都内に在住しているSPは2000~3000人。短期滞在者数千人。常時5000~6000人居る。東京という町を良い方向にコントロールしようと思って何かをやっているようです。

◎自分に洩らされた事柄をしゃべろうというほどに心が感情的にならないようにしなければなりません。

◎怒りの想念を起こしますと、体内でノルアドレナリンという物質が作りだされましてね、これが有害な毒ホルモンを作り出し、そうして体のあちこちの機能に悪い影響を与えますから、怒りというのは絶対によくない想念です。

◎人間の体というのは人間の心によっていろいろ変化している。

◎心が明るくて若々しい人はやはりそれが肉体に現れてきまして、体も若々しいですね。

◎加藤しずえさんの長生きの秘訣・・・一日に十回程何かで感動する。

◎「ホリスティック医学の治癒力」 帯津良一著

◎ホリスティック医学(精神身体医学)

◎三大聖地で奇跡的に病気が治るといふ場所は、フランスのルールド。ポルトガルのファティマ。メキシコのグアダルーペ大寺院。

◎地球人ももっと心の使い方をうまくやれば500歳くらいまで生きられる。

◎今日地球人類はまるで夢の中を生きているかのようです。本当の現実を生きていない。一つの夢として生きているだけだ。これはこの社会が著しく秩序を欠き一つの家族として機能していない社会、つまり人々が互いに敵対している社会であるからです。

◎自分で、目と耳と鼻と口、これをよく意識して、つまらない考えを目なら目が起こさないようにコントロールして内部の魂でもってものを見る。魂で聞く。

◎私達は自分の肉体の正しい面倒の見方を知らないでいる。あまりにも地球人は肉体というものを粗末に扱って正しい面倒を見ていない。

◎新鮮さは進歩であるばかりでなく若さでもあります。

◎宇宙の創造主は人間の本当に基本的な型を既に描いていた・・・プラトンのイデア論

◎完璧な自分の姿を完璧な肉体を心で描けばそのように肉体も完璧な健康体になるはずで

◎コーヒーをよく飲む人は胃ガンにならない。胃ガンになるのを防ぐ力がある。

◎私達が自分の人体の中の創造主というものを意識しながら生きていけばまず間違いがない。

◎俗世間にいわば負けたらダメなんですね。負けないように自分自身をひっぱっていく。自己矛盾をかかえているんじゃないかと思われまこと自体が非常に素晴らしいことだと思うんです。

## 質問

◆古くさい主義のもとに生きることに満足せず、常に何か新鮮なものを探し求めているごく少数の人々がこの世にいることに我々は感謝してよいでしょう。(87p)  
あなたが思う上のような人とはどのような人でしょうか。

# 宇宙的記憶

◎人間の変わり様というのは恐ろしいです。それは人間の本当の実体が変わるんじゃなくて、仮にある物すなわちマインドです。地球人の特長。

◎絶対に変わらない物、それは本人の永遠につながる実体です。・・・Consciousness 意識

◎Reincarnation 転生 非常に魂の進化した人は金星とかあるいは土星とかすごい惑星に転生します。

◎何億光年離れた銀河の中の惑星に瞬時にして人間の魂が行くそうです。

◎「アメリカが本当におそれている存在、アダムスキー型UFOに乗った我々と同じ姿のエイリアンです。ついに後少しのところまで来ました。期待して下さい。」

◎いつかアダムスキーの伝えたことが世界中に知られる時が必ず来ます。

◎ギルバート・レビンという工学博士、火星でいろいろな実験をやった結果、火星には確実に生命が存在するという声明を発表をした。

◎「惑星の暗号」グラハム・ハンコック・・・ 太陽系の各惑星には生命の存在する惑星があるんだということを肯定的に伝えようとした本。

◎ 宇宙的記憶・・・自分の過去生の記憶

◎地球人が過去生の記憶を持たないのは地球の波動が非常に低いからです。精神的はどうも低いし、物理的な波動も低い世界です。

◎「前世を記憶する子供たち」日本教文社

◎自分の生命を失うこと・・・自分の心から来る考え方をなくしてしまえば永遠の生命がわかってくる。

◎二つの生活面で生きている・・・地球人として普通の生活、別な惑星から来た方々とのコンタクトを意識的に知覚している。

◎生命の宇宙的な概念を得るためには、自己内部の意識による知覚力の拡張が必要であって、これに尽きます。

◎たえず気になるような人または物が身近にあると、あんまり考えなくても相手の特殊な生活態度あるいは習慣等が自分の方へ移ってくる。

◎一個人はエゴのかわりに常に神（意識）というものを考えるならば、いつか神と一体化し、互い似合いにしてくることになるのです。

◎「福音書」 岩隈直訳 山本書店 2800円 全456p

◎「日本人とユダヤ人」 山本七平（イザヤベンダ）

◎宇宙の創造主の代理人として生きていこう。

◎「私がするのではなく、父（創造主）が私を通じてなし給うのだ」・・・宇宙的意識

◎宇宙の全体性・・・自分は宇宙であり、宇宙は自分だという感覚。

◎大望遠鏡で撮った何億光年、何十億光年彼方の銀河系を見るといい。

◎広大な宇宙とは自分自身なのだと簡単に考えていい。なぜなら自分もその宇宙の中にいるんです。宇宙から生み出されているからです。

◎花に向かって命令口調でいっても動かない。人間に対するのと同じ様をお願いをするんだ。花と自分は一体であるというフィーリングを高める。



# 宇宙の一体性

◎今年1999年、ノストラダムスの7月にはなにもありません。あるいは7月に何処かで大地震とか大津波があるかもしれませんが、偶然の一致です。

◎地球の宗教というのは人を救うというよりもむしろ何かの恐ろしいことを起こすと言った方が早いからです。

◎イエスの出生に関してはマリアという女性がバージンのままで生んだんだから、だからイエスは神の子だと言われているんですが、あれは実は完全な創作です。れっきとした父親母親がおるんです。

◎聖書のイエスの言動行いは大部分は真実です。

◎いつかはアダムスキーが今のイエスを負かすほどの大偉人として世界で輝かしい大スターになるときが来ますね。西暦2020年前後です。

◎因は同じです。各物体は宇宙の目的に役立っているからです。

◎分子、原子、素粒子などはみんなそれぞれ意識を持っていてこれらは宇宙の目的に役立っているのだろう。全部一体なんだとそれぞれ宇宙の意識いうものによって存在させられている。

◎宇宙の因・・・宇宙の意識・・・創造主・・・神

(宇宙全体が一つの意識体であるわけです。)

◎宇宙は無限か有限かどっちかということが大きな問題なんです、これはおそらく何百メートルの反射鏡を作ってもまず結論がでないでしょうね。それが全部偶然にできたとは思えない。何か宇宙の意識体があって、その意識によって一つの計画性を持たされて作られた。

◎他人の靴を履いてみてその持ち主の気持ちが分かるのと同様に万物に対してもそれがやれ

るのです。

あらゆる物質はすべて一体であるというフィーリングを起こすことですね。

◎意識を通じて関連しあってないものは存在しない。意識というものが空間に満ちています。宇宙が空間である限り、それは何処まで行っても意識が充満している。この意識は創造主です。

◎心が意識から教わることに積極的になる必要があります。意識こそ万事を知るものであり、万物は意識の海の中で生きているからです。そしてこの海の中に万物が全宇宙の完全な表現を求めて一体化されています。

◎意識・・・なにもかも知っている”英知”でもある。

◎あらゆる生命体は意識を持っています。それは各個体の生命力であって、自己が創造された目的に役立っています。

◎心は肉体から作られてくるもので、本当に生かしている生命力である意識とは違う。

◎目に見えない生命、あるいは意識というものを自分ではっきりとつかみ取ろうとしている。

◎私たちは心(マインド)に頼ろうとしている。心というのはいい加減なものなんです。分裂感情を起こしたり、人を憎んだり、あるいは人の悪口を言ったりするでしょ。あれはみんな心です。だから心に頼ったらダメなんです。

◎考えることをやめて目をつぶってそうしてジーンと内部からわきおこる印象を待つんです。

◎SPの方々は太陽の照らし方、これを完璧に実行しておられるそうですね。つまり地球の間はいい人もいれば悪い人もいるわけです。ところがその区別を全くしないで地球人であれば全公平に助けてあげようということに徹しているそうです。

◎生活に大変化が生じてくるというのは、自分が内部の意識を主体にしてその意識からくる正しい印象に従うような生き方をすればなにをやっても心配いらぬですからね。従って生活に大変化が生じるようになる。

◎我々は創造主の完全な表現者とならんとするならば、これまで以上に自然を研究しなけれ

ばなりません。自然界は神の意識的な表現であるからです。そして二人の親密な人間が互いに似てくるのと同様に自然の一体性の法則を観察してそれを応用する必要があります。

◎植物は偶然に生えるんじゃなくて宇宙の意識というものの一つの計画に従ってそれに生かされて生えているんだというふう見ればそれでよいわけですね。

◎アダムスキーは、花に呼びかける場合は命令口調ではダメだと、人間に呼びかけるようにどうぞ動いてくださいと丁寧に呼びかけないとダメだと言っています。

◎長い間よい生活の方法を人間に気づかせてきたのはこの意識なのであって、人間の心がその支配権を意識に譲り渡すまでは、意識はやはり人間にささやき続けるでしょう。

◎意識というのは本当は父親であって人間の心はそれに従っている幼子ですね。幼児みたいなものです。

◎完全な啓示（インスピレーション）が来ないうちに意識が漏らそうとしている事柄について疑惑を起こしてはなりません。恐怖は人生のレッスンの連続を中止せしめることになるのです。

◎恐怖心というのは地球人の特長です。誰にでもある。

◎もしあなたが短気または利己的な仕事を通じて心からくる干渉に気づくならば、子供をしつけるような調子で心を訓練しなさい。

◎大宇宙思念法で心を静めて瞑想的になる。

◎神秘現象は自分の身体の細胞のどれかがメッセージを発してそれが声のようになって響くんだということを言っている。

◎「自分自身を知れ。そうすればすべてがわかるだろう」自分の体の組織または現象ですね。それをはっきり知らないのだめだと言うことです。

◎所有権というものはいい加減なものですよ。結局人間は何も持っちゃいないんです。

◎人間が永久の生命力、意識です。永遠に転生を続けますから、これは永遠になくならない。この生命力を意識とアダムスキーは言っているわけです。

◎最近一匹でも意識体でしょうね。人間の細胞を形成するもっと小さい遺伝子とかあるいは

DNA、ああいうものまでが全部意識体である。

◎意識こそ万物の背後にある宇宙の英知なのです。

◎イエスは金星から転生したわけですが、それが3秒間で来たということは、あの金星までの膨大な距離を考えますと、普通の空間の距離とか時間を超越した何か別な経路があつてそしてその経路に乗ってやってきたとしか考えられない。

◎地球人が金星とか土星とかいい惑星に転生する場合はそれなりの段階にあつて資格をもつてなくちゃいけませんからね。宇宙哲学を身につけた生き方。これが資格になるわけです。

◎日本という国はSPから非常に注目されていることは確かです。

◎太陽系に偉大な文明がある。人類がいるぞと発表してしまったら世界は大変な大混乱に陥ります。かえって恐怖心を起こすんですね。そうして大戦争が起こることも考えられますんで、NASAとしては必死になって隠すんです。さすがに隠せなくなって何かの段階を経てから来世紀の15年から20年頃になってNASAは何かを発表するはずですよ。

◎来世紀になって劇的な変化が生じるらしいですね。そうすると加速度的に宇宙方面のいろんなことが地球に導入されまして、見る間に地球人は宇宙的になってくると言うことのようなのです。

◎あらゆる人をただの人間と見ないで宇宙の創造主の子であるとして、それが自分と皆一体であるという想念を起こす。一体であるならばこれはみんな創造主の子であるからそれを礼拝すべきだとかう考えてあらゆる人を拝むような気持ちを起こすこと。心の中で手を合わせて拝むよう接するのがいいんじゃないか。自分自身でなんといっても自分が他人のために役立つには何をすればよいかということをもっと考えてこれに徹しようとかう考えてますが、皆さん方は助けてあげようとかう考えて働いておればこれは一つの奉仕だと思いますね。

# 意識による旅行

◎インターネットで世界中がダメになるだろうと言われるほどの大きな弊害が起こっている。スペース・ピープルの方々がそうっておられるそうです。

◎SPの方々はインターネットは地球を亡ぼすかも知れないというふうに言っておられるそうです。

◎意識による旅行===遠隔透視（居ながらにして遠方の光景をあたかもそこへ行ったかのように見る）Clairvoyance

◎ジョージ・アダムスキーは大超能力者だったわけです。だからこそSPの方々から目を付けられてコンタクティーになったわけです。だからSPとコンタクトしようと思えば、その基礎的な力としていわゆる超能力、遠隔透視とかあるいはテレパシーとかを持たないとダメなんです。

◎スペース・ピープルの見分け方としては服装が非常に端正で立派です。ただし顔つきは全く日本人そのものですから、顔つきだけでは全然見当が付きません。皆さん方もSPの方々にどっかであってるんですよ。

◎コソボ自治州の問題は大戦争にならない。経済問題で大きな変化が7月頃から起こる。

◎自己の目的を果たすために他人をトリコにする権利（人間にかかってきているいろんなことをやらせる靈魂）を有している死者の靈魂や靈媒というものは存在しません。あなたが持っている唯一の権利は、創造主すなわち神の似姿であるあなたの半身（実体）を認めることと、それとともに活動することにあります。

◎意識というのは人間の意識じゃなくて宇宙全体に満ちている意識体があるんですね。だからこそあれだけの天体、銀河系ができたり無数の太陽系が出来たりしてるわけです。

◎宇宙の意識体というものの中へ入り込んで、それに気がつくような自分自身がそういう意識体になるならば、これが永遠なるものの間の分離感をなくす方法だと、そうすると人間も永遠に転生を繰り返して生きることが出来る。

◎過去生を思い出せないから地球人はいつまでたっても自分自身が向上しない。

◎脈拍===自分の行動

◎あらゆる行動が宇宙空間に記録されているんです。宇宙自体が見ているその中にちゃんと記録されています。・・・アカシックレコード（空間に記録されているあらゆる記録）

◎アカシックレコードの記録を自分が読みとる、あるいはそれを透視する力を持ちさえすれば自分の過去生のことは全部見えるはずですよ。

◎アダムスキーは過去生が完全に透視できたそうですよ、手紙を見ても本人の過去生がある程度わかったそうです。

◎テレパシー能力をある程度開発してそれをもっておられませんとなかなかSPの方々は近くに寄ってきません。

◎意識===人間を生かしている生命力、原動力、根本的な知性

◎意識というものを人間がはっきり意識するようになる。これを意識的意識あるいは意識される意識といいます。

◎「見なくても信ずるものは幸いである」肉眼は宇宙空間の遠方を見ることは出来ませんが、「意識眼」はそれが出来るのです。

◎別な惑星の大文明を内部の意識は皆知っているんです。心がそれを受け入れる人となない人があって心の発達状態に差があります。

◎貧弱な体をしている人はそれなりに自分で体を鍛練して運動をして鍛えりゃいいんで、それをやらないような状態でいたらいつまでも貧弱ですね。それと同じように自分の心もちゃんと鍛えなくちゃいけないんです。

◎忍耐をあなたの土台として心をしだいに意識のなかへ浸透させなさい。

アダムスキーが口癖のように言っていた言葉

「Always, be patient」 いつも忍耐強くありなさい。

◎一時に感受する印象または映像は、ある事柄のほんの一部にすぎないことを常に記憶することが肝要です。感受する印象に対して絶対に疑惑を起こしてはいけません。

◎本当に宇宙的な印象なのかそれとも単なる妄想なのかどっちだろうかということがよく問題になるんですが、その場合も一応客観的に自分に見える映像または印象をそのままととくんです。そうするといつか後になってどっちが本当か自然わかってくる。

◎遠隔透視の場合はただ漠然として遠方を見てやろうと思っててもダメですから、前額部（額のちょっと奥）に自分だけのスクリーンがあって、それに映像が映ってくるんだとそういう気持ちを起こすんです。その練習を毎日、五分なら五分と決めて練習されるとよろしいです。

◎常に記憶すべきことがあります。意識はすべてを包容する力であり英知であるということです。

◎Conscious Consciousness 意識される意識

◎新約聖書によりますとナザレの聖母マリアという人がバージンのままでイエスを生んだというのが定説となっていて、世界中のキリスト教徒が信じて疑わないんです。そういうことは宇宙の法則から見てもあり得ないことです。ところが聖母マリアという人が彼女が生ん

だんじゃないんです。ものすごい話があるんです。実際にある両親の元でイエスは生まれて、とにかく両親が非常に立派な人が別にいたんだということ、そして母親は意外な人であったということです。